

平成 23 年度 病害虫発生予察 特殊報 第 3 号

病害虫名： クロメンガタスズメ
Acherontia lachesis FABRICIUS, 1798

対 象： シカクマメ

1. 特殊報の内容

クロメンガタスズメの発生と被害を東京都小笠原村父島のシカクマメで初めて確認した。

2. 発生経過

- (1) 2011 年 8 月、父島内の複数のシカクマメ露地栽培圃場において、葉を暴食する大型のスズメガ科幼虫が発見された。採集した幼虫を東京都小笠原亜熱帯農業センターで飼育し、羽化した成虫から本種と確認した。
- (2) 本種は国内では西日本を中心に各地で記載等がある。都の近県では、2010 年に茨城県でタバコ、埼玉県でナス、トマトの被害が報告されている。
- (3) なお、本種は父島内で 2009 年 3 月と 2010 年 3 月に成虫が確認されているが(未発表)、現在までのところ島しょ部を含む都内の他の地域では確認されていない。

3. 形態 (第 1～3 図: 幼虫, 第 4 図: 成虫)

- (1) 幼虫は大型で、終齢幼虫は約 90 mm もの大きさになり、体色は緑色、黄色、褐色など変化に富む(第 1～3 図)。同属の別種メンガタスズメとは、尾角の先端が著しく湾曲することで区別が可能である。
- (2) 成虫も開張 100～125 mm と大型で、胸部背面に人面に似た灰色の模様を帯び、名前の由来になっている(第 4 図)。メンガタスズメとは、腹部背面の縦長の藍色のラインの幅が広く、人面模様の目が垂れ目気味なので区別できる。

4. 生態

- (1) 年に 1～2 回夏～秋に発生し、幼虫は土中で蛹化し、蛹で越冬するとされるが、詳細な生活史等については不明である。
- (2) 幼虫の食草は、ゴマ科(ゴマ)、ナス科(ナス、トマト、ジャガイモ、チョウセンアサガオ、タバコ、クコ)、マメ科(フジマメ)、ヒルガオ科(セイヨウアサガオ、リュウキュウアサガオ、アメリカンブルー)、ノウゼンカズラ科(キササゲ)、キリ科(キリ)、アサ科(アサ)、クマツヅラ科(クサギ)など広範囲にわたる。なお、シカクマメの食害記録は初めてである。

5. 被害

- (1) 幼虫は葉を食害する。幼虫の齢期が進むと食害量も大きくなり、太い葉脈だけを残して食べ尽くす。株全体の葉が食い尽くされる被害となる場合がある。

6. 防除対策および注意

- (1) 現在のところ、クロメンガタスズメに登録のある農薬はない。
- (2) 葉の食害や地上に落ちている幼虫の糞を目安に、発見に努める。
- (3) 圃場をよく観察し、幼虫を確認したら捕殺する。

7. 参考文献

金井 節博(2011) 茨城県内のクロメンガタスズメの記録. 蛾類通信(261): 259.



第 1 圖 終齡幼虫（綠色型，側面）



第 2 圖 終齡幼虫（綠色型，背面）



第 3 圖 終齡幼虫（黃色型，側面）



第 4 圖 成虫